

地方創生へ

株式会社カネカと地域包括連携協定

4/18

北海道において健康・食・新規住宅など様々な分野で事業を展開する株式会社カネカ（角倉 譲代表取締役社長）と「地方創生包括連携協定」を結びました。この協定は、沼田町の地方創生に向け、相互に協力してそれぞれの資源を有効に活用した事業の推進を図るものです。

協定の締結式には株式会社カネカを代表して田中 稔代表取締役副社長が出席され、渡邊議長が立ち合われる中、協定書を締結しました。



▲中央 田中 稔副社長

金平町長は、「昨年、菅原会長とお会いした際、本町農業の取組みに興味をもっていただき、本日の連携協定を結ぶことができました。今後は、株式会社カネカと沼田町が一体となって地方創生に取り組んでいきたい。」と述べました。

田中副社長は、「昨年、株式会社カネカ北海道を立上げ、北海道を基点としたビジネスの拡大や新規創出に力を入れています。北海道の良さを発掘し、更に大きく新しい事業を北海道で展開していき、農作物の収量を上げる試験等を含め、沼田町に貢献出来る事業を行っていきたい。」と話されました。

長年の功績を讃えて

沼田町特別功労者表彰式・開拓記念式

4/25

ふれあい「すこやかホール」で平成30年度沼田町特別功労者表彰式が執り行われ、長年、消防団や建設業の活動に尽力された渡部 稔氏に特別功労者表彰が贈呈されました。

式では、金平町長が表彰状と記念品を贈呈し「長年消防団活動や建設業を通して、地域住民が安心して暮らしている、町政の振興発展にご尽力いただきました。今後も町民のためのまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申



し上げます。」と挨拶されました。

渡部さんは「関係者の皆様に支えられ、特別功労者表彰を受彰できました。これからも、地域一人一人のため、また、町の発展のためにご協力させていただきます。」と述べられました。

表彰式終了後、役場前庭にある開拓記念碑前で開拓記念式が執り行われ、参列者は先人の苦勞を偲び町の更なる発展を祈願しました。

一番酒町民試飲会

雪なごり - 瑞華 - 発売記念

4/25

まちなかほっとタウンにおいて、「沼田のお酒」向上委員会（小泉清彦会長）主催の『雪なごり - 瑞華 -』発売記念一番酒町民試飲会が開催されました。

地酒「雪なごり」の原料を酒造好適米「彗星」へ切り替えたことに併せ、「雪室熟成純米酒 雪なごり - 瑞華 -」と新たに命名されました。小泉会長は「沼田町に素晴らしいお酒が誕生しました。たくさんの方にかわいがって頂けるお酒にしていきます。」と挨拶されました。

会場では、リニューアルされた地酒を心待ちにしていた多くの参加者が一番酒を味わいました。

また、スペシャルゲストとして、「酒場詩人」でお馴染みの吉田類氏を招き、新酒の味を町民と一緒に堪能しました。



小中一貫教育の幕開け

沼田学園開園式

4/26

沼田学園開園式が、沼田学園沼田小学校体育館で執り行われました。

平成7年に「沼田町一貫教育検討委員会」を設置し、翌8年には「沼田町一貫教育推進協議会」を設立して、小中9年間を繋いで沼田っ子を育てようと多くの議論を重ね、この日の開園式となりました。

式には、児童・生徒や保護者、町教育の関係者ら約250人が参加し、足田博和学



園長（沼田小学校校長）から「9年間を通して、ふるさと沼田に誇りをもって充実した学校生活を過ごせるよう努力します。」と挨拶がありました。

式の最後には、児童・生徒と一緒に「この星に生まれて」を合唱して、「沼田学園」の船出を祝いました。

沼田学園の名称は、合同運動会など、小中の合同行事に使用されます。

久しぶりに華麗なショット

町民パークゴルフ場オープン

4/29

町民パークゴルフ場がオープンし、来場者は今シーズン初のプレーを楽しみました。

オープニングセレモニーでは吉田教育長から「今年も、多くの方々にご来場いただきたい。健康づくりや憩いの場としてご利用してください。みなさまのご健康と良いスコアが出ることをお祈りしております。」と挨拶があり、オープンを待ちわびた来場者はそれぞれのコースに分かれてスコアを競い合いました。



家族連れで賑わった

化石体験館オープン

4/29

化石体験館がオープンし、町内外から多くの方が訪れました。

オープンを記念して、木村方一名誉館長（北海道教育大学名誉教授）を講師にお迎えし、トークイベントが開催され、「ヌマタカイギュウ」や「タカハシホタテ」などについてのお話があり、化石の歴史を唄も交えながらわかりやすく来場者に伝えました。

オープニング企画として、「お楽しみ抽選会」が行われたほか、「ミニ発掘」や「レプリカ作り」など、来場者は日常では味わえない、太古の体験を楽しみました。



子どもを守る

防犯・交通安全街頭啓発パトロール

5/11

春の地域安全運動に合せ、防犯・交通安全街頭啓発を実施しました。

5月11日から20日までの期間中、新入学園児・児童の安全・安心確保のため、青色回転灯を付けた隊員が街頭啓発パトロールを行い、子どもたちが犯罪被害に遭わないよう、防犯指導や登下校の見守りを行いました。



みんなでキレイな町に!!

クリーン沼田空き缶拾い

5/13

町内一円において、町・自治振興協議会・社会福祉協議会共催のクリーン沼田空き缶等回収一斉運動が行われました。

開会にあたり、3団体を代表して、社会福祉協議会の松田剛会長から「日頃から空き缶等を見つけたら拾っていただき、町民一人ひとりの力を合わせ、きれいな町づくりを行っていきましょう。」と挨拶がありました。

その後、あいにくの天気でしたが、約200名の参加者は各地域に分かれて、たくさんの空き缶やゴミを回収しました。



豊作を祈り

新嘗祭献穀お田植祭

5/22

宮中祭祀行事の^{にいねめさい}新嘗祭に献上する米の「^{たうえさい}お田植祭」が、「^{こくでん}献穀田」として指定された更新の岡田聖人さんが所有する水田で執り行われました。献穀田は毎年、北海道で2カ所選ばれ、今年度は檜山管内今金町と北いぶき農業協同組合の水田が選ばれました。北いぶき農業協同組合が選ばれるのは11年ぶりです。この日は、農業関係者など約70名が宮中へ献上するお米が豊かに実るよう祈願しました。その後、早乙女姿の女性6名が水田に入り「ななつぼし」の苗を丁寧に手植えしていきました。



耕作者の岡田さんは「米どころ沼田を代表して、出来秋にはいいお米が献上出来るよう育てたい」と話していました。

今後は、9月下旬に「^{ぬいぼさい}抜穂祭」(収穫)を行ない、精米したお米を献上する予定です。



1株1株大切に

小学生が田植学習

5/24

沼田小学校（足田博和校長）の5年生18名が昔ながらに手で植える田植え農業体験を行いました。

天候にも恵まれた中、児童はJ A北いぶき職員から植え方の説明を受け、スノークールライスファクトリー南側5アールの水田に「ななつぼし」の苗を1本1本丁寧に植えていました。水田中での歩き方や苗の扱い方など、児童同士で相談し合い、農業のおもしろさ、大変さを感じていました。

今後は苗の生育状況の観察や収穫作業を体験し、刈り取り後のお米は児童にプレゼントされる予定です。

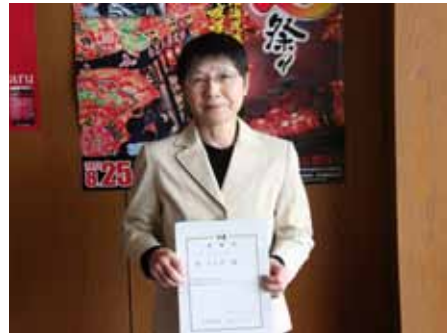


身体障がい者・知的障がい者相談員委嘱状交付式

5月2日（水）身体障がい者相談員・知的障がい者相談員委嘱状交付式が執り行われ、身体障がい者相談員に大堀信義氏（平成5年～）、知的障がい者相談員に辻よし子氏（平成20年～）がそれぞれ再任の委嘱を受けました。

相談員は、障がい者に対する虐待、差別等の不利益な扱いや地域で暮らす障がい者の暮らしづらさに関する相談に応じ、必要な助言を行うと共に関係機関に情報提供することなどを業務とします。

任期は平成30年4月1日～平成32年3月31日までの2年間となっています。



特旨叙位・特別叙勲伝達式（故上机榮氏・故山田英次氏）

5月15日（火）、元沼田町議会議員の故上机榮氏に特旨叙位として「従六位」が授与され長男の孝博氏（写真左）へ、同じく元沼田町議会議員の故山田英次氏に特別叙勲として「旭日単光章」が授与され長男の昌希氏（写真右）へそれぞれ金平町長からの伝達が執り行われました。



▲上机孝博氏



▲山田昌希氏

「沼田町一貫・連携教育」

沼田学園運動会の開催

5/26

4月に開園した沼田学園（足田博和学園長）の運動会が、「仲間と協力し、運動会を盛りあげて赤も白も力を合わせて、あきらめないで頑張ろう」をテーマに、小学校グラウンドで開催されました。

合同競技では恒例となった「デカパンリレー」や今年初めての競技となった「とんとんトンネル」では、仲良く息のあった競技を行いました。また、小学生競技の準備に中学生がお手伝いするなど協力しながら、元気いっぱいそれぞれの競技が行われました。



▲何回跳べるかな？中学生全員での「みんなでジャンプ」。



▲中1による「部活動！新入部員は大忙し」。



▲小3・4の「コロコロガーレ」四角い段ボールも転がします。



▲今年も健在！合同競技の「デカパンリレー」。



▲小5・6の「レンタマン・2018」では父兄も参加しました。



▲中学生生活最後の3年生、小麦粉の入った洗面器を頭から被るパフォーマンスで会場を沸かせました。